

北薩の輝き

地域に根ざし、キラリ輝く北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成26年度 第4号 10月6日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8771

fax：0996-25-3095

いじめの問題、不登校への適切な対応

学校において、何気なく行われている「始業開始とともに着席すること」、「正しい姿勢で机に向かって学習すること」等の働きかけも、生徒指導の一つです。国立教育政策研究所生徒指導研究センター発行の生徒指導リーフによると、「生徒指導とは、社会の中で自分らしく生きることができる大人へと児童生徒が育つように、その成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけの総称のことであり、具体的には、『児童生徒が自発的かつ主体的に自己を成長させていく過程を、支援する。』、『集団や社会の一員として自己実現を図っていく大人へと育つよう、促す。』こと」とあります。

北薩教育事務所では、平成26年度共通実践重点事項として「豊かな心とたくましい体の育成」を掲げ、いじめの問題、不登校への適切な対応等、生徒指導の充実に努めているところです。

「いじめ防止対策推進法」が平成25年6月に公布され、管内の全ての学校において「学校いじめ防止基本方針」を作成し、それを基にした取組が進められています。児童生徒に対するアンケートを通して、いじめの問題の早期発見・早期解決を図ることはもちろんですが、学校の取組を点検・評価する良い機会でもあります。取組を更に充実させ、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」と思えるような魅力ある学校づくりに努めてもらいたいと思います。

また、県内の不登校の状況ですが、過去4年間の推移（文部科学省問題行動等調査）をみると、小学校では、人数、在籍率ともやや減少傾向にあります。中学校においては、前年度と比較して増加傾向にあります。不登校への具体的な対応については、鹿児島県教育委員会が作成した不登校対策リーフレットを参考に、一人一人の児童生徒に寄り添った未然防止と初期対応に努めてもらいたいと思います。

いじめ・不登校の問題を含む問題行動等については、全職員による組織的な対応をすることはもちろんですが、家庭や地域、関係機関等との連携を図ることも大切です。今後とも児童生徒の抱える課題や取り巻く生活環境等について情報を共有しつつ、適切な対応に心掛けていただきたいと思います。



中学校生徒指導担当者研修会

開催日：平成26年8月22日（金）
参加者：北薩地区中学校生徒指導担当者
各市町教委生徒指導担当指導主事

8月22日、北薩地区生徒指導担当者等研修会が実施されました。出水市立米ノ津中学校の岸良昭彦教諭による「本校におけるいじめ問題の取組」の実践発表を行った後、各校におけるいじめ防止基本方針への取組状況や携帯電話等に係る問題と学校の対応についてグループごとに協議しました。自校の課題を解決しようと熱心な研究協議が行われました。

また、千葉大学教育学部附属中学校の三宅健次主幹教諭による「ネット社会の歩き方」と題した講話では、最新のネット社会の諸問題について情報提供していただくとともに、一つ一つの事案について具体的な対応策及び学校における啓発活動の進め方について指導していただきました。

今後、当日配布された資料等も学校全体で活用しながら、情報モラル教育も充実させていただきたいと思います。



「実践発表」



「グループ協議」



「講話」



「まとめと指導」

北薩教育事務所のホームページをリニューアル

北薩教育事務所では、皆様に分かりやすく、しかも見て楽しいホームページを目指してリニューアル中です。

その第一弾として、管内の5市町の協力を得て、毎月の各市町の教育活動等の様子を写真で紹介しています。どうぞ御期待ください。

また、管内の小・中学校の場所が一目で分かるカラー版の地図や直接それぞれの学校のホームページを見ることができるリンク集を掲載中です。さらに、教育事務所と関連した教育活動を「最近の出来事」や事務所便り「北薩の輝き」として掲載しております。ぜひ御覧ください。



地区特別支援教育コーディネーター養成研修会

8月11日、特別支援教育コーディネーター養成研修会が実施されました。午前中は、鹿児島大学教育学部の肥後教授による『発達障害の理解と指導・支援の在り方』についての講義で、午後は、ケース検討に有効なインシデント・プロセス法を学び、先生方が支援方法を考える演習が行われました。

各学校における特別支援教育の充実に向けた取組に生かしていただきたいと思います。



幼稚園教育課程研究協議会

8月19日、北薩、南薩、日置地区の公・私立幼稚園及び保育所の幼稚園教諭や保育士等による幼稚園教育課程研究協議会が実施されました。

『自分の気持ちを調整する力』『自ら考えようとする気持ち』の育成に向けた協議が行われました。

鹿児島純心女子短期大学の森木准教授による講義や、出水市立米ノ津東小附属幼稚園の濱崎教諭、白百合幼稚園の山内教諭による事例発表は、日頃の幼児との関わりがよく分かり、参加者から、『大変参考になった』という感想をいただきました。



職員の子供による職場見学

(北薩教育事務所の職員の子供さんが来てくれました。)

8月20日に職場見学を開催したところ、5人(小学生3人、中学生2人)の子供たちが参加してくれました。子供たちは、仕事内容を聞いたり、親子で一緒に名刺を作って、職場の職員と名刺交換などをしたりして過ごしてもらいました。その日は、職場がいつもに増して明るい雰囲気になっていったと思います。

今回の職場見学を通して、子供たちは、普段と違う親の姿を見ることができたのではないのでしょうか。また、仕事に対する理解や働くことの意義を深めるきっかけになってくれたら幸いです。

♪♪♪♪♪ 参加してくれた皆さん、ありがとうございました。♪♪♪♪♪

